平成25年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名　日本たばこ産業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　2914　URL　http://www.jti.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小泉　光臣
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コミュニケーション責任者　(氏名) 田中　泰行　TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日　平成24年8月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	512,108	17.2	128,597	68.2	124,391	72.4	86,406	80.8	84,521	83.2	237,617	49.1
24年3月期第1四半期	436,795	―	76,441	―	72,141	―	47,782	―	46,126	―	159,404	―

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	44.38	44.37
24年3月期第1四半期	24.22	24.21

(注)1.当社グループは、平成24年3月31日に終了する連結会計年度からIFRSを適用しております。従って、平成24年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2.当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	3,857,348	1,895,500	1,812,416	47.0	951.75
24年3月期	3,667,007	1,714,626	1,634,050	44.6	858.09

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり親会社所有者帰属持分を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	4,000.00	―	6,000.00	10,000.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		30.00	―	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。なお、平成24年3月期の1株当たり配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,120,000	4.2	483,000	5.2	469,000	6.3	324,000	△1.4	318,000	△0.9	166.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注)1.当社は、平成24年7月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。従って、平成25年3月期の連結業績予想における基本的1株当たり当期利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。
2.当社は、第2四半期累計期間の連結業績予想値を算出していないため、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	2,000,000,000 株	24年3月期	2,000,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	95,705,200 株	24年3月期	95,705,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	1,904,294,800 株	24年3月期1Q	1,904,294,800 株

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提及び仮定に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる前提及び仮定その他業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、7ページ及び「2013年3月期 第1四半期 決算説明会資料」をご参照ください。
(2)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。
(3)決算説明会資料等につきましては、当社ウェブサイト(http://www.jti.co.jp/)をご覧ください。

添付資料　目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
2. サマリー情報（その他）に関する事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・ P6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・ P6
3. 要約四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書・・・・・・・ P10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14
(5) セグメント情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16
(6) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P20
(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記・・・ P20

１．当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、会計基準において定義されていない指標を追加的に開示しております。これらの指標は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理にも利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

自社たばこ製品売上収益

たばこ事業においては、自社たばこ製品に係る売上収益を、売上収益の内訳として追加的に開示しております。具体的には、国内たばこ事業においては、売上収益から輸入たばこ配送手数料等に係る売上収益を控除し、海外たばこ事業においては、売上収益から物流事業及び製造受託等に係る売上収益を控除しております。

調整後 EBITDA

当社グループの業績の有用な比較情報として、営業利益（損失）から、減価償却費及び償却費、のれんの減損損失、リストラクチャリングに係る収益及び費用を除いた調整後 EBITDA を開示しております。

また、海外たばこ事業における当期の調整後 EBITDA を前年同期の為替レートを用いて換算・算出し、為替影響を除いた、為替一定ベース調整後 EBITDA も追加的に開示しております。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

①全般的概況

売上収益

売上収益につきましては、国内たばこ事業において震災影響のあった前年同期に対し販売数量が増加したこと並びに海外たばこ事業における単価上昇効果及び販売数量の増加等により、前年同期比 753 億円増収の 5,121 億円（対前年同期比 17.2%増）となりました。

	2012 年 3 月期 第 1 四半期 (億円)	2013 年 3 月期 第 1 四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
売上収益	4,368	5,121	753	17.2
国内たばこ事業	1,146	1,731	585	51.0
内、自社たばこ製品	1,039	1,653	614	59.2
海外たばこ事業	2,169	2,336	167	7.7
内、自社たばこ製品	2,014	2,167	153	7.6
医薬事業	113	127	14	12.4
食品事業	901	885	△15	△1.7

※ 連結外部に対する収益を表示しております。

※ 売上収益には、上記のセグメントに係る売上収益の他、不動産賃貸等に係る売上収益があります。詳細につきましては、17 ページ「３．要約四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報 ②セグメント収益及び業績」をご参照ください。

営業利益及び調整後 EBITDA

国内及び海外たばこ事業における増収、前年同期の海外たばこ事業における一時的な合理化費用の発生等により、営業利益は前年同期比 522 億円増益の 1,286 億円（前年同期比 68.2%増）となりました。また、減価償却費及び償却費、海外たばこ事業における合理化費用等を除いた調整後 EBITDA につきましては、前年同期比 421 億円増益の 1,560 億円（前年同期比 37.0%増）となりました。なお、為替一定ベース調整後 EBITDA につきましては、前年同期比 522 億円増益の 1,661 億円（前年同期比 45.8%増）となります。

	2012 年 3 月期 第 1 四半期 (億円)	2013 年 3 月期 第 1 四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
調整後 EBITDA	1,139	1,560	421	37.0
国内たばこ事業	367	766	399	108.5
海外たばこ事業	742	800	58	7.8
医薬事業	△27	△35	△8	―
食品事業	58	44	△14	△24.1
営業利益	764	1,286	522	68.2

※ 営業利益・調整後 EBITDA には、上記のセグメント以外に係る営業利益・調整後 EBITDA を含みます。詳細につきましては、17 ページ「３．要約四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報 ②セグメント収益及び業績」をご参照ください。

四半期利益（親会社所有者帰属）

税引前四半期利益につきましては前年同期比 523 億円増益の 1,244 億円（前年同期比 72.4%増）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては前年同期比 384 億円増益の 845 億円（前年同期比 83.2%増）となりました。

②事業別の概況

〔国内たばこ事業〕

当第1四半期における国内紙巻たばこの販売数量は、前年同期において東日本大震災後に銘柄数及び数量を限定した出荷としていたこと等により、前年同期に対し110億本増加し294億本(注)（前年同期比59.5%増）となりました。また、当第1四半期のシェアは59.4%（前年度シェア54.9%）となりました。引き続き、注力ブランドを中心とした積極的かつ効果的な新製品の投入・販売促進活動の展開などを通して、更なるシェア回復へ向けて最大限努力してまいります。

販売数量の増加等により売上収益は前年同期比585億円増収の1,731億円(前年同期比51.0%増)、自社たばこ製品売上収益は前年同期比614億円増収の1,653億円（前年同期比59.2%増）となりました。なお、国内紙巻たばこの千本当売上収益は5,508円となりました。

また利益面では、出荷銘柄数、数量を限定していた前年同期には販売促進活動を抑制していたことに加え、競争環境激化の中、シェア回復、更なるブランド・エクイティ強化のための費用増があったものの、販売数量の増加に加え、前年同期には東日本大震災による損失を計上していたこと等により、調整後EBITDAは前年同期比399億円増益の766億円（前年同期比108.5%増）となりました。

（注）当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第1四半期における販売数量8億本があります。

〔海外たばこ事業〕

当第1四半期におけるGFB(注)につきましては、「ウィンストン」がロシア、スペイン、イタリアで、「キャメル」がスペイン、イタリアで伸張しました。これに加え、「LD」がロシア、ポーランド、カザフスタンで増加したこと等により、GFBの販売数量は前年同期に対し53億本増加し611億本(前年同期比9.5%増）となりました。またGFBを含む総販売数量は、ロシアにおけるGFB以外の製品の販売減少があったものの、前年11月にスーダンにおける事業基盤を獲得したこと等により、前年同期に対し44億本増加し989億本（前年同期比4.7%増）となりました。

また、主要市場の現地通貨において不利な為替影響があったものの、単価上昇効果等により、ドルベースの売上収益は前年同期比309百万ドル増収の2,944百万ドル（前年同期比11.7%増)、自社たばこ製品売上収益は前年同期比284百万ドル増収の2,731百万ドル(前年同期比11.6%増）となりました。また調整後EBITDAは、材料費の増加に加え継続的なブランドへの投資、人件費等の経費の増加はあるものの、前年同期比107百万ドル増益の1,008百万ドル（前年同期比11.8%増）となりました。なお、為替一定ベース調整後EBITDAにつきましては、前年同期比193百万ドル増益の1,094百万ドル（前年同期比21.4%増）となります。

この結果、邦貨換算時に円高の影響を受けたものの、売上収益は前年同期比167億円増収の2,336億円（前年同期比7.7%増)、自社たばこ製品売上収益は前年同期比153億円増収の2,167億円（前年同期比7.6%増)、調整後EBITDAは前年同期比58億円増益の800億円（前年同期比7.8%増）となりました。

(注)ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウィンストン」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB(グローバル・フラッグシップ・ブランド）としております。

※ 当第1四半期における為替レートにつきましては、前年同期比2.96円 円高の1米国ドル＝79.35円（前年同期は1米国ドル＝82.31円）です。
また、主要な現地通貨の米国ドルに対するレートにつきましては、以下のとおりです。

為替レート (1米国ドル)	2012年3月期第1四半期	2013年3月期第1四半期
ルーブル	29.30ルーブル	30.15ルーブル
英ポンド	0.63英ポンド	0.64英ポンド
ユーロ	0.75ユーロ	0.76ユーロ

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の迅速且つ円滑な上市による収益基盤の確立を目指しております。開発状況としましては、自社開発品8品目(注)が臨床試験の段階にあります。なお、抗HIV薬「JTK-303」を含む配合錠及び単剤について、導出先であるギリアド・サイエンシズ社が、米国FDA、欧州医薬品庁等へ承認申請を行っております。また、脂質異常症治療薬「JTT-705」については導出先であるロシュ社が2012年5月7日、開発中止を公表しております。

当第1四半期における売上収益につきましては、子会社鳥居薬品㈱における「レミッチカプセル（血液透析患者における経口そう痒症改善剤）」「ツルバダ配合錠（抗HIV薬）」等の増収等により、前年同期比14億円増収の127億円（前年同期比12.4%増）となりました。調整後EBITDAにつきましては、開発の進展に伴う研究開発費の増加等により35億円のマイナス（前年同期の調整後EBITDAは27億円のマイナス）となりました。

（注）臨床開発品目につきましては、本日公表の「2013年3月期 第1四半期 決算説明会資料」の「臨床開発品目一覧（2012年7月30日現在）」をご覧ください。

〔食品事業〕

当第1四半期における飲料事業の売上収益につきましては、基幹ブランド「ルーツ」の販売は堅調であったものの、前年同期において震災後の一時的な販売増があった影響等から減収となりました。加工食品事業につきましても、ステープル（冷凍麺、米飯、焼成冷凍パン）の伸張はあった一方、利益率改善に向け水産関連の一部取扱商品を絞り込んだ影響等から減収となりました。この結果、食品事業の売上収益につきましては、前年同期比15億円減収の885億円（前年同期比1.7%減）となりました。

調整後EBITDAにつきましては、飲料事業における減収影響に加え、加工食品事業において、ステープルの伸張はあったものの原材料価格の上昇影響等から、前年同期比14億円減益の44億円（前年同期比24.1%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ640億円減少し、3,407億円となりました（前年同期末残高522億円）。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第１四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、981億円の収入（前年同期は381億円の支出）となりました。これは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出があった一方、法人税及び賞与の支払等があったことによるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第１四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、264億円の支出（前年同期は215億円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出等があったことによるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第１四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、1,405億円の支出（前年同期は1,342億円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済及び配当金の支払等があったことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、2012年４月26日発表の予想から変更はありません。

なお、当社は、第２四半期連結累計期間の業績予想値を算出していないため、当該予想値につきましては記載を省略しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2013年３月期 第１四半期 決算説明会資料」に記載しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しております。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。)

(1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
(2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
(3) 国内外の訴訟の動向
(4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
(5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
(6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
(7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
(8) 国内外の経済状況
(9) 為替変動及び原材料費の変動

３．要約四半期連結財務諸表

（１）要約四半期連結財政状態計算書

	前年度 (2012年３月31日)	当第１四半期 (2012年６月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	404,740	340,700
営業債権及びその他の債権	327,767	357,532
棚卸資産	446,617	458,456
その他の金融資産	27,361	29,576
その他の流動資産	123,163	174,216
小計	1,329,649	1,360,479
売却目的で保有する非流動資産	1,401	3,348
流動資産合計	1,331,050	1,363,828
非流動資産		
有形固定資産	619,536	641,900
のれん	1,110,046	1,221,858
無形資産	306,448	327,899
投資不動産	67,387	64,842
退職給付に係る資産	14,371	16,304
持分法で会計処理されている投資	18,447	19,589
その他の金融資産	67,548	65,325
繰延税金資産	132,174	135,803
非流動資産合計	2,335,957	2,493,521
資産合計	3,667,007	3,857,348

	前年度 (2012年３月31日)	当第１四半期 (2012年６月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	298,663	288,398
社債及び借入金	211,766	138,415
未払法人所得税等	42,501	52,685
その他の金融負債	8,039	8,065
引当金	5,686	5,049
その他の流動負債	590,717	653,902
小計	1,157,373	1,146,514
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	101	268
流動負債合計	1,157,474	1,146,783
非流動負債		
社債及び借入金	279,750	283,349
その他の金融負債	20,994	21,275
退職給付に係る負債	315,020	320,790
引当金	4,448	4,623
その他の非流動負債	92,235	97,162
繰延税金負債	82,460	87,866
非流動負債合計	794,906	815,065
負債合計	1,952,380	1,961,848
資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,410	736,410
自己株式	(94,574)	(94,574)
その他の資本の構成要素	(376,363)	(225,304)
利益剰余金	1,268,577	1,295,883
親会社の所有者に帰属する持分	1,634,050	1,812,416
非支配持分	80,576	83,084
資本合計	1,714,626	1,895,500
負債及び資本合計	3,667,007	3,857,348

(2)要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

	前第１四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年６月30日)	当第１四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年６月30日)
	百万円	百万円
売上収益	436,795	512,108
売上原価	(195,226)	(216,812)
売上総利益	241,569	295,296
その他の営業収益	2,052	3,027
持分法による投資利益	380	246
販売費及び一般管理費等	(167,561)	(169,972)
営業利益	76,441	128,597
金融収益	1,554	1,085
金融費用	(5,854)	(5,291)
税引前四半期利益	72,141	124,391
法人所得税費用	(24,359)	(37,985)
四半期利益	47,782	86,406
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	46,126	84,521
非支配持分	1,656	1,885
四半期利益	47,782	86,406
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	24.22	44.38
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	24.21	44.37

営業利益から調整後EBITDAへの調整表

	前第１四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年６月30日)	当第１四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年６月30日)
	百万円	百万円
営業利益	76,441	128,597
減価償却費及び償却費	28,680	28,166
リストラクチャリングに係る収益	(80)	(1,228)
リストラクチャリングに係る費用	8,869	469
調整後EBITDA	113,910	156,004

要約四半期連結包括利益計算書

	前第１四半期 （自 2011年４月１日 至 2011年６月30日）	当第１四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日）
	百万円	百万円
四半期利益	47,782	86,406
その他の包括利益		
在外営業活動体の換算差額	110,364	152,110
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	(67)	(43)
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	1,325	(769)
数理計算上の差異	－	(87)
税引後その他の包括利益	111,622	151,211
四半期包括利益	159,404	237,617
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	157,489	235,422
非支配持分	1,915	2,194
四半期包括利益	159,404	237,617

(3)要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分						
				その他の資本の構成要素			
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	その他有価証券評価差額金
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2011年４月１日　残高	100,000	736,410	(94,574)	763	(257,262)	－	5,754
新会計基準適用による累積的影響額	－	－	－	－	－	(142)	(5,754)
四半期利益	－	－	－	－	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	110,098	(67)	－
四半期包括利益	－	－	－	－	110,098	(67)	－
株式報酬取引	－	－	－	49	－	－	－
配当金	－	－	－	－	－	－	－
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	－	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	－	－	49	－	－	－
2011年６月30日　残高	100,000	736,410	(94,574)	812	(147,164)	(210)	－
2012年４月１日　残高	100,000	736,410	(94,574)	1,028	(387,228)	(309)	－
四半期利益	－	－	－	－	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	151,809	(43)	－
四半期包括利益	－	－	－	－	151,809	(43)	－
株式報酬取引	－	－	－	72	－	－	－
配当金	－	－	－	－	－	－	－
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	－	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	－	－	72	－	－	－
2012年６月30日　残高	100,000	736,410	(94,574)	1,101	(235,420)	(352)	－

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素						
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	数理計算上の差異	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2011年４月１日　残高	－	－	(250,745)	1,034,054	1,525,145	76,166	1,601,311
新会計基準適用による累積的影響額	5,551	－	(344)	97	(247)	47	(201)
四半期利益	－	－	－	46,126	46,126	1,656	47,782
その他の包括利益	1,332	－	111,363	－	111,363	259	111,622
四半期包括利益	1,332	－	111,363	46,126	157,489	1,915	159,404
株式報酬取引	－	－	49	－	49	－	49
配当金	－	－	－	(38,086)	(38,086)	(414)	(38,500)
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	－	－	－	(379)	(379)	(14)	(394)
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	2	－	2	(2)	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	－	435	435
所有者との取引額等合計	2	－	50	(38,467)	(38,417)	7	(38,410)
2011年６月30日　残高	6,886	－	(139,676)	1,041,810	1,643,969	78,135	1,722,105
2012年４月１日　残高	10,146	－	(376,363)	1,268,577	1,634,050	80,576	1,714,626
四半期利益	－	－	－	84,521	84,521	1,885	86,406
その他の包括利益	(779)	(87)	150,901	－	150,901	310	151,211
四半期包括利益	(779)	(87)	150,901	84,521	235,422	2,194	237,617
株式報酬取引	－	－	72	－	72	－	72
配当金	－	－	－	(57,129)	(57,129)	(414)	(57,543)
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	(0)	87	87	(87)	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	－	728	728
所有者との取引額等合計	(0)	87	159	(57,215)	(57,057)	314	(56,743)
2012年６月30日　残高	9,367	－	(225,304)	1,295,883	1,812,416	83,084	1,895,500

(4)要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第１四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年６月30日)	当第１四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年６月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	72,141	124,391
減価償却費及び償却費	28,680	28,166
減損損失	3,438	168
受取利息及び受取配当金	(802)	(949)
支払利息	4,298	2,689
持分法による投資損益（益）	(380)	(246)
有形固定資産、無形資産及び投資不動産除売却損益（益）	477	(892)
営業債権及びその他の債権の増減額（増加）	(13,032)	(14,056)
棚卸資産の増減額（増加）	(17,946)	7,300
営業債務及びその他の債務の増減額（減少）	(8,478)	(7,618)
退職給付に係る負債の増減額（減少）	2,283	(1,928)
前払たばこ税の増減額（増加）	(32,989)	(30,821)
未払たばこ税等の増減額（減少）	54,984	71,549
未払消費税等の増減額（減少）	(4,639)	(9,400)
その他	(76,579)	(39,578)
小計	11,456	128,774
利息及び配当金の受取額	2,075	1,464
利息の支払額	(2,545)	(2,474)
法人所得税等の支払額	(49,081)	(29,641)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(38,095)	98,124
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	(1,469)	(440)
投資の売却及び償還による収入	3,567	417
有形固定資産の取得による支出	(19,669)	(22,577)
無形資産の取得による支出	(3,877)	(5,547)
定期預金の預入による支出	(11,354)	(7,230)
定期預金の払出による収入	10,019	7,260
その他	1,291	1,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	(21,493)	(26,419)

	前第１四半期 （自 2011年４月１日 至 2011年６月30日）	当第１四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日）
	百万円	百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー		
支払配当金	(37,663)	(56,601)
非支配持分への支払配当金	(414)	(414)
非支配持分からの払込みによる収入	209	－
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額（減少）	6,259	(1,559)
長期借入による収入	－	532
長期借入金の返済による支出	(7,789)	(81,214)
社債の償還による支出	(93,070)	(50)
ファイナンス・リース債務の返済による支出	(1,387)	(1,195)
非支配持分からの子会社持分の取得による支出	(394)	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	(134,247)	(140,501)
現金及び現金同等物の増減額（減少）	(193,835)	(68,796)
現金及び現金同等物の期首残高	244,240	404,740
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	1,843	4,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,248	340,700

(５)セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定されております。

当社グループは主に製造たばこ、医薬品、食品を製造・販売しており、そのうち製造たばこについては、国内と海外に分けて事業管理を行っております。従って当社グループは、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分されたセグメントから構成されており、「国内たばこ事業」、「海外たばこ事業」、「医薬事業」、「食品事業」の４つを報告セグメントとしております。

「国内たばこ事業」は、国内(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場を含みます)での製造たばこの製造・販売を行っております。「海外たばこ事業」は、製造・販売を統括するJT International S.A.を中核として、海外での製造たばこの製造・販売を行っております。「医薬事業」は、医療用医薬品の研究開発・製造・販売を行っております。「食品事業」は、清涼飲料水、加工食品、調味料の製造・販売等を行っております。

② セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。取締役会は、収益と調整後EBITDAを検討のうえ、セグメント業績を評価し、経営資源の配分を決定しております。金融収益、金融費用、法人所得税費用はグループ本社で管理されるため、これらの収益・費用はセグメントの業績から除外しております。なお、セグメント間の取引は概ね市場実勢価格に基づいております。

前第１四半期（自 2011年４月１日　至 2011年６月30日）

	報告セグメント					その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益(注４)	114,619	216,907	11,291	90,066	432,883	3,912	－	436,795
セグメント間収益	7,219	5,878	－	13	13,110	2,336	(15,446)	－
収益合計	121,838	222,784	11,291	90,079	445,994	6,248	(15,446)	436,795
セグメント損益								
調整後EBITDA(注１)	36,736	74,192	(2,670)	5,845	114,103	223	(416)	113,910

当第１四半期（自 2012年４月１日　至 2012年６月30日）

	報告セグメント					その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益(注４)	173,084	233,632	12,695	88,540	507,951	4,157	－	512,108
セグメント間収益	7,331	7,688	－	36	15,054	2,335	(17,389)	－
収益合計	180,415	241,319	12,695	88,575	523,005	6,492	(17,389)	512,108
セグメント損益								
調整後EBITDA(注１)	76,611	79,984	(3,514)	4,434	157,514	(1,166)	(344)	156,004

調整後EBITDAから税引前四半期利益への調整表

前第１四半期（自 2011年４月１日　至 2011年６月30日）

	報告セグメント					その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
調整後EBITDA（注１）	36,736	74,192	(2,670)	5,845	114,103	223	(416)	113,910
減価償却費及び償却費	(9,808)	(13,011)	(843)	(4,398)	(28,061)	(699)	80	(28,680)
リストラクチャリングに係る収益（注５）	－	－	－	－	－	80	－	80
リストラクチャリングに係る費用（注５）	－	(8,761)	－	(76)	(8,837)	(32)	－	(8,869)
営業利益（損失）	26,928	52,420	(3,513)	1,370	77,205	(428)	(336)	76,441
金融収益								1,554
金融費用								(5,854)
税引前四半期利益								72,141

当第１四半期（自 2012年４月１日　至 2012年６月30日）

	報告セグメント					その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
調整後EBITDA（注１）	76,611	79,984	(3,514)	4,434	157,514	(1,166)	(344)	156,004
減価償却費及び償却費	(9,624)	(12,601)	(820)	(4,245)	(27,290)	(954)	78	(28,166)
リストラクチャリングに係る収益（注５）	1,200	5	－	－	1,205	23	－	1,228
リストラクチャリングに係る費用（注５）	(4)	(258)	－	－	(262)	(207)	－	(469)
営業利益（損失）	68,182	67,130	(4,334)	189	131,167	(2,304)	(266)	128,597
金融収益								1,085
金融費用								(5,291)
税引前四半期利益								124,391

(注１) 調整後EBITDAは、営業利益(損失)から減価償却費及び償却費、のれんの減損損失、リストラクチャリングに係る収益及び費用を除外しております。

(注２) 「海外たばこ」に区分したJT International S.A.を中核とする海外子会社グループの年度決算日は12月31日であり、１月１日から３月31日までの損益等を前第１四半期及び当第１四半期に計上しております。

(注３) 「その他」には、不動産賃貸に係る事業活動等及び報告セグメントに帰属しない企業広報経費や本社コーポレート部門運営費等の本社経費が含まれております。

(注４) 国内たばこ事業及び海外たばこ事業における自社たばこ製品売上収益は、以下のとおりであります。

	前第１四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年６月30日)	当第１四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年６月30日)
	百万円	百万円
国内たばこ	103,851	165,284
海外たばこ	201,424	216,705

(注５) リストラクチャリングに係る収益には、不動産の処分に伴う売却益等のリストラクチャリング収益を含んでおります。また、リストラクチャリングに係る費用には、工場閉鎖等に係るリストラクチャリング費用の他、葉たばこ農家に対する廃作協力金を含んでおります。リストラクチャリングに係る費用の主な内訳は、以下のとおりであります。

	前第１四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年６月30日)	当第１四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年６月30日)
	百万円	百万円
リストラクチャリング費用	8,869	465
葉たばこ農家に対する廃作協力金	－	4
リストラクチャリングに係る費用	8,869	469

前第１四半期におけるリストラクチャリング費用は、海外たばこ事業におけるHainburg工場の閉鎖等にかかる費用を含んでおります。

当第１四半期におけるリストラクチャリング費用は、海外たばこ事業における割増退職加算金等にかかる費用を含んでおります。

(６)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(７)親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。